

## さいたまユース福祉ボランティアについて

江戸里神楽公演学生実行委員会を構成する学生スタッフは、どこの大学に所属しているのか、ということは問題にならず、学生のネットワークから「このイベント、面白そうだ」という方々が集まり、それぞれが準備作業こなしていく「集団」です。また、学生スタッフの相互交流も積極的でなく、帰属意識も弱く、どなたが入り、どなたが去っていったのかも知りません。ただ、ツイッター上とウェブ上で成果を確認していくことにより、仕事の内容、進行チェックがなされています。

自由度が高く、型がない、ぼんやりした実行委委員会に私たち、〈さいたまユース福祉ボランティア〉が学生団体として参加したのですが、そのキッカケは〈さいたま市市民活動サポートセンター〉の橋渡しがあったからです。

文化事業を構築していくにあたっては、異なる活動を実施しているグループと新たな連携を模索する、というのが実行委員会側の説明でした。「伝統芸能の公演を開催する活動」は、私たちも日頃の活動とは無縁のもの。そこで参加するか否かを慎重に検討して全員参加ではなく、有志の参加となりました。

さて、ここでは私たちの団体を紹介させていただきます。私たちの団体は大宮開成高校のインターアクト部（ボランティア）のOB,OGを中心としたメンバーで二〇一四年に発足し、以来、地域奉仕、復興支援を目的に様々な活動をしてまいりました。現在は、メンバー総数一四名で、他の高校出身者も在籍しています。今までの活動は以下の通りです。

二〇一四年 広島土砂災害救援募金活動

二〇一五年 コムナーレフェスティバル参加（被災地支援出し物）・アートフルゆめまつり参加（催し物お手伝い）・ネパール大地震災害救援募金活動・カシャッと撮ってドキッと発見（団体紹介の出し物）・ふれあい留学 in 加須（被災者の方々との交流）・北関東・東北地方災害救援募金活動・浦和区健康まつり～心と体の健康フェスタ（運営お手伝い）

二〇一六年 熊本地震災害救援募金

各イベントでは、運営のお手伝いや、実際に自分たちで被災地支援を目的とした出し物や子供たち向けにバルーンアートなどをさせていただきました。また、自然災害が起きた際には、大宮南ロータリークラブさんや大宮開成高校の在校生と大宮駅で募金を行いました。このように私たちは、さいたま市内での

活動をメインに行っています。

江戸里神楽公演学生実行委員会の活動スタイルは私たちのそれとはまったく違っていますが、いつの間にか副委員長、ツイッター担当、ウェブ担当ということで頑張っています。違った活動形式を持っているサークルに参加することで視野が広がり、今後の活動にも役立つと考えています。

(東洋大学・柴田南帆)